

富山市のSDGs取組状況(普及展開等)について (令和4年度及び令和5年度)

本市では、2018年にSDGs未来都市に選定されて以降、これまで「1.知る」、「2.理解する」、「3.実践する」の3つの区分で、市民等への普及展開の取組を行ってきている。

1. SDGsを「知る」

(1)特設サイトやSNS、メールマガジンによる情報発信(継続)



(2)北日本新聞紙面を活用した情報発信(継続)

令和4年度は、9月から3月にかけて(月1回)、市内企業や団体等のSDGsに関する取組事例を北日本新聞朝刊に掲載した。令和5年度も9月から取組事例の掲載を開始した。



※昨年度に掲載した企業等の取組事例は、参考資料1を参照

(3)SDGs実践啓発動画の作成、公開(R4新規)

SDGsについて知ってもらい、具体的な行動の実践に繋げるため、「市民生活編」と「企業活動編」の動画(約4分)を作成し、SDGs専用サイト上に掲出した。また、出前講座等においても、市民向け説明用動画として活用している。



(4)SDGsを知るためのツール作成(R4新規)

大人から子ども、企業などを対象に、SDGsを知り、学び、行動に移してもらうための新たな支援ツールとして「SDGsスタートブック」を作成した(出前講座等で配布)。



(5)その他(イベント等でのブース出展)

各種イベントにブースを出展し、SDGs未来都市の取組等についてPRを行った。下記は、令和4年8月に大和富山店で開催された「SDGsスクエア」の様子。



2. SDGsを「理解する」

SDGsの趣旨や目的を理解してもらうことを目的に、「SDGs推進フォーラム」をはじめ、様々な関連イベントを集中的に実施する「SDGsウィーク」を実施した。

(1)SDGsウィークの概要(全18事業・2023年1月21日(土)~2023年1月29日(日))

フォーラムのほか、「ジェンダー」や「パートナーシップ」をテーマに参加者が意見を交わすワークショップの開催など、17のゴールを広く網羅した多様なイベントを開催した。

また、高校生や大学生の若い世代が参加した「ユースミーティング」や、小学生がSDGsについて理解を深める「子ども未来フォーラム」、「SDGsシネマ」の上映会なども開催した。

※SDGsウィーク期間中の各イベント等への参加者総数:約2,000人



(2)SDGsフォーラムの開催(2023年1月28日(土):富山国際会議場)

メインイベントとして、SDGsの理念でもある「誰一人取り残さない」をテーマに、基調講演やパネスディスカッションを実施した。当日は、YouTube上でもライブ配信。

(プログラム構成) ※フォーラム参加者:約200人

- ① パフォーマンス、基調講演「自分らしく生きる幸せ～多様な個性を受け入れるとは?～」
講師：サカクラカツミ氏 (パフォーマンスアーティスト)
- ② SDGs事例発表 (カターレ富山、神通碧小、堀川小)
- ③ パネルディスカッション (藤井市長、サカクラカツミ氏、高木要志男氏、藤田香氏)



(3)「富山市SDGsアクションミーティング」の開催(R4新規)

SDGsサポーターや推進コミュニケーターの方など、SDGsへの関心が高い人を対象にSDGsへの理解をより深めつつ、相互の交流や活動の場を広げていくことを目的に、特定のゴール(テーマ)に対する課題や解決方法を深掘りするワークショップを3回開催した。

(テーマ及び参加者)

- 第1回(11月): ゴール4「教育」、第2回(12月): ゴール12「資源循環」
- 第3回(1月): ゴール5「ジェンダー平等」 ※計3回の開催で、延べ約40人が参加



(4)富山市SDGs推進認定事業補助金による支援(継続)

SDGsの推進が見込める、企業・団体が実施するイベントや啓発ツールの作成事業などに対して、補助金による支援(補助率1/2・上限10万円)を行った。

【R5支援例】

事業名:SDGs折り鶴プロジェクト(実施団体:(一社)環境市民プラットフォームとやま)
広島で開催されたG7サミットに想いを届けるため、まちなかの「SOGAWA・BASE」を会場にゴール16「平和」など、SDGsに関する想いを込めて、折り鶴を折るイベントに支援を行った。イベントには、子どもからお年寄り、外国人の方まで多くの方が参加された。
なお、折り鶴の用紙には、企業から提供された余分のチラシが再利用されている。



(5)富山広域連携中枢都市圏を構成する市町村職員を対象とした「SDGsカードゲーム」の開催(R5新規)

SDGsを広域的に展開する取組の一環として、富山広域連携中枢都市圏の市町村職員を対象に、SDGsに関する理解の向上や職員の交流、圏域内での連携強化を図ることを目的に、カードゲーム「SDGs de 地方創生」による合同ワークショップを開催し、全構成市町村から職員が参加した(8月9日)。
※参加者:富山市17名、滑川市2名、舟橋村3名、上市町1名、立山町1名



3. SDGsを「実践する」

地域や職場等でSDGsを実践する人材の育成や普及活動を行う団体等に支援を行った。

(1)「富山市SDGsサポーター登録制度」の周知及びサポーター募集(継続)

行政や民間とSDGs活動を共にし、その裾野を広げていくことを目的に、2019年度から開始した「富山市SDGsサポーター登録制度」について、各種イベントや北日本新聞、まいどはやバスの車載デジタルサイネージを活用し、制度の周知とサポーター募集を行った。



※富山市SDGsサポーター登録者数:個人1,059人、企業・団体363社(令和5年8月末現在)

(2)「富山市SDGs推進コミュニケーター養成講座」の開催(継続)

SDGsを地域や学校、職場等で広める「富山市SDGs推進コミュニケーター養成講座」を令和4年度は年3回開催し、新たに38名の方を認定した。その内、1回は、市と連携協定を結ぶ、三井住友海上火災保険㈱から講師を招き、企業向けの養成講座を初めて開催した。



※富山市SDGs推進コミュニケーター認定者数:147人(令和5年8月末現在)

(認定証)

(6)親子向けSDGsワークショップの開催(R5 新規)

夏休みに親子でSDGsを楽しく学ぶことのできる機会を提供し、日頃の行動での実践を促すため、ゴール12「リサイクル」を主なテーマに掲げ、ペットボトルキャップによる100%リサイクル商品「エコフラポット」への花苗の植え方体験等を初めて企画、開催した(8月26日)。

※参加者数(親子11組23名)



(7)中小企業向け「脱炭素セミナー」の開催(R5 新規)

市内の中小企業等を対象に、地域の脱炭素化に向けた取組を推進するため、カードゲーム「2050カーボンニュートラル」体験セミナーを、初めて企画、開催した。参加者同士が学びや気づきを共有しながら、組織の将来ビジョンについて考えた(9月8、15日)。

※参加者数(市内18企業25名)



(8)ステークホルダーと連携した新たな取組

① 下水道マンホールを活用したSDGsイラスト蓋の設置(R4~R5)

呉羽小6年生の児童が、SDGsのゴール14「海の豊かさを守ろう」をイメージしてデザインした「SDGsマンホール蓋」について、(株)LIXIL北陸支社が児童の思いに賛同し、デザイン画を元にプレートを制作し、呉羽小に寄贈した。なお、プレートは、上下水道局がマリエとやま前のマンホールに設置した(令和5年3月7日~8月31日)。



(呉羽小児童のデザイン画) (設置したマンホールプレート)



② 荒廃農地等での早生樹活用モデル事業(R4~)

中山間地域の後継者不足等による荒廃農地等の課題に対応するため、成長に優れた早生樹(ヤナギ類)を荒廃農地等に植栽し、バイオマス燃料として活用するモデル事業を実施。



※事業主体:富山市早生樹活用協議会(市、県、(株)富山環境整備、婦負森林組合、森林総合研究所)

③ 生物多様性の保全に関する連携協定の締結(R5)

本市と中部大学、(公財)富山市ファミリーパーク公社の3者で、「飼育繁殖技術確立に向けた共同研究等に関すること」や「生物多様性の保全を目的とした環境教育に関すること」などを連携協力項目に掲げた、生物多様性の保全に関する協定を締結した(5月25日)。

④ 市内における森林保全活動推進に関する連携協定の締結(R5)

本市と婦負森林組合、立山山麓森林組合の3者で構成する「富山市カーボン・オフセット運営協議会」と日本海ガス㈱、同社に天然ガスを供給する(株)INPEXの3者で、Jクレジット制度等を活用した森林整備の促進と間伐材の一層の有効利用、温室効果ガスの削減を図るため、森林保全活動推進に関する連携協定を締結した(8月31日)。



(9)高等教育機関(富山大学・富山国際大学)との連携による取組(R4~R5)

富山大学と連携し、人文学部の教養教育総合科目において、市職員による「富山市のまちづくり」に関する特別講義を実施しており、同カリキュラムの一つとして、SDGsに関する講義を実施(R5年8月31日)したほか、都市・デザイン学部(都市デザイン学総論)及び理学部(地方創生環境学)でも「SDGs未来都市」について特別講義を実施した。

また、富山国際大学でも、現代社会学部(地域政策論、環境政策論)において、SDGsに関する特別講義を実施(R4年11月25日、R5年1月16日)した。

(10)G7富山・金沢教育大臣会合におけるSDGsに関連した取組(R5)

① 国内外への情報発信

本年5月に開催されたG7富山・金沢教育大臣会合の会場内において、各国大臣らに向けて、SDGs未来都市としての取組やコンパクトシティ政策など、本市の施策について、パネルやパンフレット等を用いて広く発信した。



② G7のりもの語り教育国際会議の開催

本市では、平成26年度から小学校3年生から6年生を対象に、社会科や総合的な学習の時間において、交通手段を見直すための交通環境学習「のりもの語り教育」を実施している。

G7教育大臣会合の開催にあわせ、その関連事業として、世界各都市の小学生が公共交通の事例の共有、意見交換を通じて、モビリティ・マネジメントの推進や諸外国との交流等を図ることを目的に、「G7のりもの語り教育国際会議」をオンラインで開催した(4月27日)。



※参加学校(都市):中央小学校、サン・セバスティアン市(スペイン)、デンパサール市(インドネシア)、クアラルンプール市(マレーシア) 参加者数42人(オンライン視聴約200人)

(11)子どもたちへのSDGs普及・実践に繋がる主な取組(R4~R5)

次世代を担う子どもたちに対して、SDGsの各ゴールと関連のある取組を幅広く実施した。

主な関連ゴール	事業名	事業内容・目的等	所管部局
2 気候変動に具体的な対策を	親子農作業体験講座	親子で農作業体験を行い、農業への理解と関心を深めた(場所:営農サポートセンター)。	農林水産部
4 質の高い教育をみんなに	図書展示「みんなでSDGs」 学校展示「もっと知りたいSDGs」	SDGsへの理解を深めるため、17の目標ごとに関連図書を展示した(こども図書館)ほか、SDGsを基礎から学べる資料を集めて紹介した(細入図書館)。	教育委員会
6 安全な水とトイレを世界中に	流杉浄水場施設見学会 親子で学ぶ下水道見学会	水道水の製造工程や資源循環について理解を深めた。 下水熱を使用した冷暖房設備などの下水道施設を見学するなど、下水道事業への理解と関心を深めた。	上下水道局
7 再生可能エネルギーを拡大して持続的に	次世代エネルギーパーク見学ツアー	小水力発電所や木質ペレット工場、水素ステーションなどの施設見学を通じて、再生可能エネルギー等に対する理解を深めた。	環境部
11 住み続けられるまちづくりを	のりもの語り教育推進事業 景観まちづくりワークショップ	小学校の授業(61校)で公共交通の必要性等について考えた。 教育版マインクラフトを用いたワークショップ等を開催し、景観やまちづくりへの理解と関心を深めた。	活力都市創造部
12 つくる責任つかう責任	3R推進スクール	幼少期からごみ減量化、資源化への意識を高めるため、3R(リデュース(ごみの減少)、リユース(再利用)、リサイクル)の推進について、課外授業を行った。	環境部
14 海の豊かさを守ろう	海洋ごみに関するモデル授業 海辺の漂着物調査	海洋プラスチックごみ対策やマイクロプラスチックなどの学習を授業(小学校4校)で行い、海洋ごみ問題への関心を高めた。 海岸漂着ごみの実態を把握し、環境保全への関心を高めた。	環境部
15 陸の豊かさを守ろう	教育普及事業(とやまの自然探検)	野外に出かけて自然を感じ、植物や生き物に触れるとともに、科学的な見方について学習した。	教育委員会

(12)富山県パートナーシップ宣誓制度との連携について(R5)

県では、すべての県民が個人として尊重され、多様性を認め合い、誰もが安心して豊かに暮らせる人権尊重社会を目指し、令和5年3月から「富山県パートナーシップ宣誓制度」を導入された。本市においても、県から交付された宣誓書受領証を示すことで、公営住宅への入居申込や医療機関での面会、病状説明等の際に利用できるようになっている。

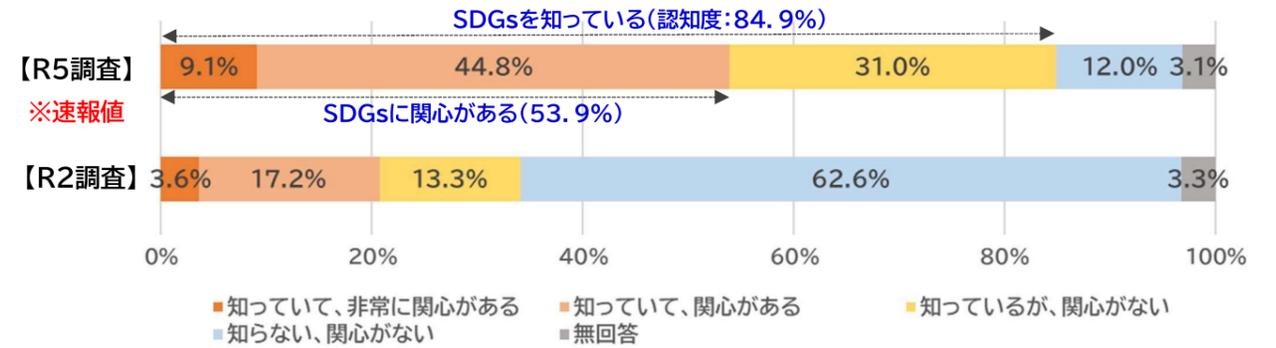
※宣誓件数 県内41件(令和5年9月15日時点)



4.これまでの主な取組成果

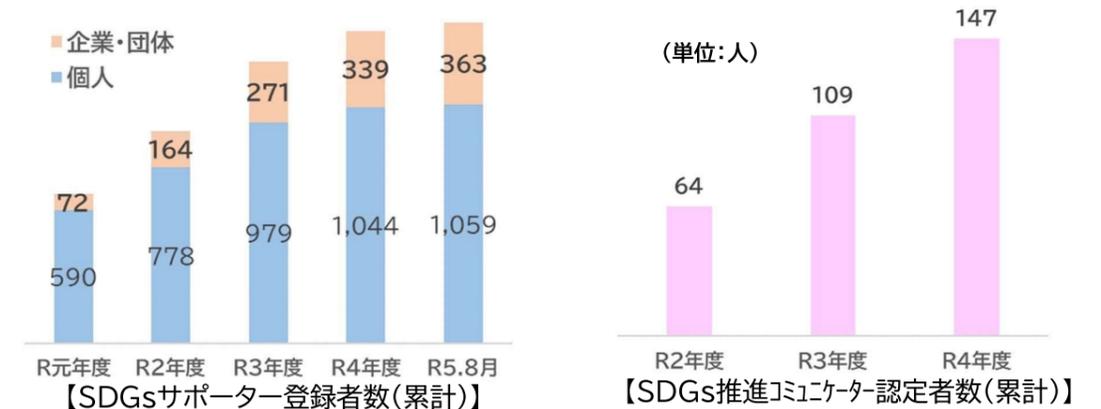
(1)市民のSDGs認知度・関心の割合(R2及びR5市民意識調査結果の比較)※R5は速報値

本年7月に実施した市民意識調査結果(※R5速報値)によると、SDGsの認知度を示す「SDGsを知っている」市民の割合は約85%となり、前回調査時(R2)の約34%と比べると大幅に増加した。また、前回調査時に約20%であった「SDGsに関心がある」市民の割合も約54%まで増加し、認知度及び関心ともに高まってきている。



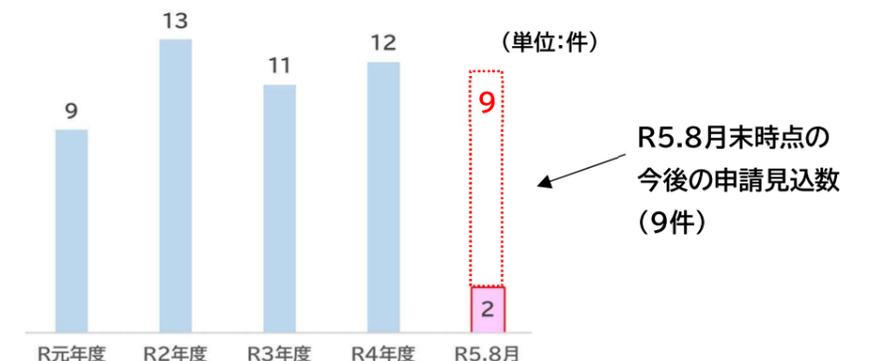
(2)SDGsサポーター及びSDGs推進コミュニケーター数の推移

SDGsサポーターは、イベント開催などを通じて募集してきた結果、順調に登録者数が増加し、推進コミュニケーターも養成講座を開催することで着実に増加してきている。



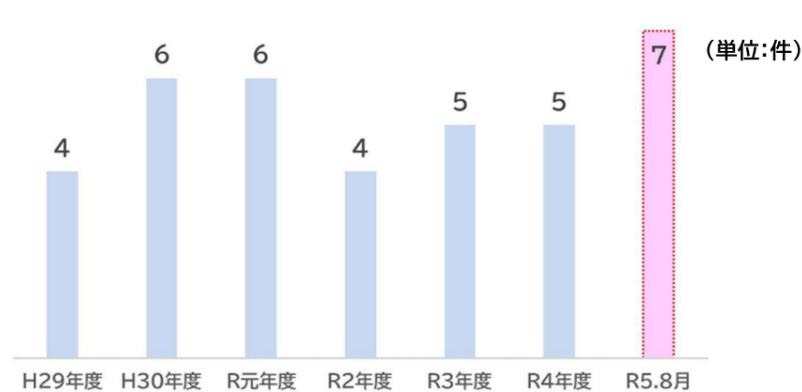
(3)「SDGs推進認定補助金(R元~)」の交付実績(※上限10万円・補助対象の1/2)

令和元年度に補助金制度を創設して以降、民間企業や団体、学校などが実施する事業に対して支援を行ってきており、今年度も例年並みの活用が見込まれる。



(4)「中小企業女性活躍環境づくり推進助成金(H29～)」の交付実績(※上限50万円・助成対象の1/2)

SDGsのゴール5「ジェンダー平等」やゴール8「働きがい」等にも関連する女性活躍に向けた取組の一つとして、市内の中小企業で働く女性が活躍できる環境づくりを目的として、事業所内に女性専用のトイレや更衣室を新たに設置又は改修する費用の一部を支援している。なお、R5年度は、8月末の時点で過去最多の交付件数となっている。



(5)富山市 SDGs教育旅行(R3～)による受入学校及び生徒数の増加

本市のSDGs未来都市としての強みをいかし、コンパクトなまちづくりや歴史、文化、その他SDGs未来都市としての取組など、SDGsをテーマに地域の課題解決の手法を考える市独自の12のプログラムを教育旅行用に開発し、令和3年度から「探求型修学旅行」として受け入れを開始したところ、県外から多くの学校・生徒が訪れている。



年度	学校	人数
R3	16校	1,004名
R4	37校	2,674名
R5.8	6校	712名

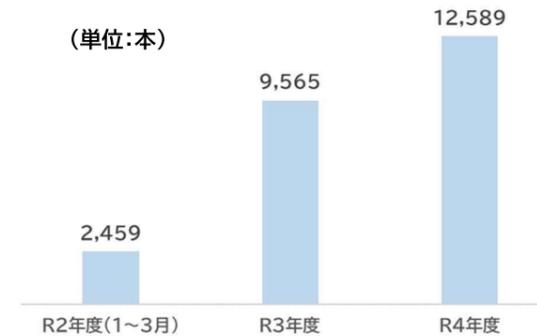
(6)フードドライブの実施状況

本市では、市民参加型のイベント開催時にブースを出展するなど、年2回程度、フードドライブ(家庭で余っている食品を集めて、福祉団体等に提供する活動)を実施しており、食品ロスをなくすための意識が浸透してきている。令和4年度は富山県母子寡婦福祉連合会に提供。



(7)SDGs 自動販売機での販売状況

ブードロス対策として、北陸コカ・コーラ㈱と連携し、市役所1階に令和3年1月から設置したSDGs自動販売機(賞味期限が短い飲料を定価より10円~30円割安な価格で販売)での販売本数が、増加してきている。



5.今後のSDGs普及展開に関する主な取組予定

1. SDGsを「知る」及び「理解する」

(1) 市民参加型普及啓発関連イベントの開催

① 「海洋ごみについて考えるフォーラム」

開催期間：令和5年10月22日(日) 13:30~15:30
開催場所：富山国際会議場(メインホール)

② 「SDGsウィーク」

開催期間：令和6年1月下旬から2月上旬(予定)

③ 「SDGs推進フォーラム」

開催日時：令和6年2月4日(日) 午後(予定)
開催場所：オーバードホール・中ホール

2. SDGsを「実践する」

① 「富山市SDGs推進コミュニケーター養成講座」の開催

第1回講座(一般向け)：令和5年9月24日(日) 終了(※参加者23名)
第2回講座(企業向け)：令和5年10月20日(金) 開催予定
第3回講座(学生向け)：令和5年11月11日(土) 開催予定

② 「SDGsアクションミーティング」の開催

第1回ミーティング：令和5年11月下旬開催予定
第2回ミーティング：令和5年12月下旬開催予定
第3回ミーティング：令和6年1月下旬開催予定